

体育科（保健領域）学習指導案

授業者 T1 6 学年担任及び養護教諭
 T2 外部講師（医師）
 T3 副校長（がん経験者）

1. 日時 令和7●年●月●日 第●時限 13:10～13:55

2. 場所 ●●●小学校

3. 学年・組 第6学年 ●●名

4. 内容のまとめり・単元名

(3)病気の予防 (オ)地域の様々な保健活動の取り組み

5. 本時の目標

- ・人々の病気を予防するために、保健所や保健センターなどでは、健康な生活習慣に関わる情報提供や予防接種などの活動が行われていることを理解できるようにする。 【知識及び技能】

6.本時の指導展開

段階	時間	学習内容・活動	形態	教師の指導・支援 (○) 評価規準及び方法 (■)
はじめ 4分	2分	1. 本時の授業の確認 ・がんについて校医の先生から話を聞くことを確認する。	全体	○T1：本時で学習した内容を家庭でも話すよう働きかける。
	1分	2. 外部講師の自己紹介	全体	○T2：スライドを示しながら話す。 ・気分が悪くなった時などの配慮を行う。
	1分	3. 本時の流れの確認	全体	○T2：4つの軸があることの説明 ・がんはどのような病気なのか ・がんにかからないようにできるのか ・もしがんにかかったら ・もし大切な人ががんにかかったら ○T2：がんについて知り興味を持ったら、中学校、高等学校でも深く学ぶことを知らせる。

な か 35 分	5分	4. がんはどんな病気か知る	全体		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">発問 がんにかかる割合はどのくらいの割合？</div> <p>・がんにかかる人の割合で正しいと思う選択肢を A～D のの中から選び挙手で答える。</p> <p>A：2人に1人 B：5人に1人 C：10人に1人 D：100人に1人</p> <p>・がんが発生する仕組みを知る。</p>			<p>○T2：がんは遠い存在ではなく、とても身近なものであることを伝える。</p> <p>○T2：がん細胞が生まれる仕組みについて説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細胞分裂の際に異常細胞が生まれること ・免疫で異常細胞を治すことができず増加し、血管に入り込むことで全身に広がること。 <p>○T2：身近なものに例えて、理解しやすくする。</p> <p>例：細胞分裂＝コピー機</p> <p>毎日印刷し続けるとインクがかすれたり文字抜けしたコピー用紙が出てきて、それを見逃すことがある⇨がん細胞のもと</p> <p>○質問にあったことを取り上げながら解説する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜがんが広がるのか？ となりの組織（近くの血管やリンパ管）に入り込んで血液やリンパ液を介して遠くの臓器やリンパ節に転移する。 ・がんはどこでできるのか？ 細胞分裂が起こるすべての臓器で起こる。 血液やリンパの中にも起こる。 ⇨細胞分裂をする場所ならどこでもできる可能性がある。
10分		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">発問 がんがでにくい場所はどこだと思う？</div> <p>・発問に対し口々に発言し答える。</p>			<p>○T2：回答に対しその場でその臓器にはがんができるか否かを答える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回答が出にくければ、「細胞が分裂しない臓器はどこだと思う？」などと発問を変える。 <p>○T2：心臓にも全くできない訳ではないことを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心臓にも腫瘍ができることがあるが、良性のことが多い。
		5. がんの原因について知る。	全体		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">発問 がんにかかりやすくしてしまうものはどれ？</div> <p>・がんにかかりやすくしてしま</p>			○T2：全て原因になることを解説する。

	<p>う要因として正しいと思う選択肢を A～D の中から選び、挙手で答える。</p> <p>A：タバコ・お酒の飲みすぎなどの生活習慣 B：細菌・ウイルス感染 C：生まれ持った体質 D：原因不明</p> <p>・がんにかかりやすくなる生活習慣について知る。</p> <p>・感染によってかかりやすいがんについて知る。</p>	<p>・原因が必ずしもあるわけではなく、原因不明が一番多く、誰でもなりえること。</p> <p>○T2：タバコやお酒、食生活の危険性について例を出しながら解説をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「家族にタバコを吸う人はいるか」などと問いかけながら、受動喫煙のリスクについても触れる。 ・お酒を飲むことでどのがんにかかりやすいかについて触れる。 ・食生活は、塩味・辛味・熱いものを食べ過ぎることなどで食道がんにかかりやすくなること、インド人は食道がんが多いことについて触れる。 <p>○T2：「がん予防法（5＋1）」を中心にがんにかかる原因について解説する。この5＋1 予防法によりがんにかかりにくくなることへの理解を導く。</p> <p>○T2：感染によって子宮頸がん、肝臓がん、胃がんにかかることがあることを解説する。</p> <p>○T2：子宮頸がん、肝臓がんにはワクチンがあり、ワクチンを接種することで、胃がんについてはお薬の投与により、がんにかかる確率を下げることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年生からヒトパピローマウイルスワクチンを打つことができること、女子だけでなく男子も打つことができること、ヒトパピローマウイルスによって発症する病気は子宮頸がんだけではないことを解説する。 ・ワクチン接種についておうちの人と相談するよう働きかける。女子については定期接種。 <p>■【知識及び技能】〈観察〉</p>
<p>発問 がんを早期発見できる可能性があるのはどれ？</p>		
	<p>・早期発見できる可能性があると思う選択肢を A～D の中から選び、挙手で答える。</p> <p>A：からだが痛くなればわかる B：血圧でわかる C：顔を見ればわかる D：がん検診でわかる</p>	<p>○T2：がん検診で早期に発見できるがんがあることを解説する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんがある程度広がらなければ痛くならない。早期の段階では症状は見られないことについて例を出しながら解説する。

	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">発問 早期発見した場合、どのくらいの人が長生きできる？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期発見したらどのくらいの人が長生きするかの割合で正しいと思う選択肢を A～D のの中から選び挙手で答える。 <li style="margin-left: 20px;">A：約 1 割 <li style="margin-left: 20px;">B：約 5 割 <li style="margin-left: 20px;">C：約 7 割 <li style="margin-left: 20px;">D：約 9 割 ・がん検診について知る。 <p>5 分 6. もしがんにかかったら？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんの治療法について知る。 <li style="margin-left: 20px;">手術・抗がん剤・放射線 	全体	<p>○T2：早期発見によって約 9 割の人が長生きできるがんがあることを解説する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早くに見つかりさえすればそんなに怖くない病気であることを伝える。 <p>○T2：がん検診について解説する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような種類があるか ・どのような検査を行うか ・検診を面倒だと思える人がいるがとても大切だということ、国が定めた主ながん検診の種類について解説する。 <p>○T2：がんの種類や状態などによって 3 つの治療法を組み合わせる行うこと。</p> <p>○T2：最近ではロボットを使って手術を行うことが在るということについても触れる。 例:ダヴィンチ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細かい手術を行うことができる。
	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">発問 この画像の中で手術している人はだれ？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スライドの写真内で誰が手術している人か挙手で答える。 ・緩和ケアについて知る。 ・がん治療はいろいろな専門家がチームで治療にあたることを知る。 <p>10 分 7. 大切な人ががんにかかったら</p>	全体	<p>○T2：スライド内の写真を示しながら発問する。</p> <p style="margin-left: 20px;">ロボットを使っての手術風景を開設する。</p> <p>○T2：手術も薬も進歩していることを伝える。</p> <p>○T2：緩和ケアは、がん患者の身体的、精神的な辛さを減らすために行われることを解説する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・治らないから行うのではなく、がんにかかったから行うこと <p>○周りの人ががんにかかったら一緒に考えたり、相談にのったりするよう働きかける。</p> <p>○T2：職種の例を出しながらがん治療チームについて説明する。</p> <p style="margin-left: 20px;">例:医師、薬剤師、栄養士など</p> <p>○T2：がん治療は、治療後の生活の質を大切にしながら、その人らしく、充実した生き方ができるよう行うことが大切であることを伝える。</p> <p>○T3：がんに関する経験について話す。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に経験のある人（副校長など教員）に話を聞く。 ・がん患者には様々な思いがあることを理解する。 ・がん情報は氾濫していることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いつがんにかかったか ・発見までの流れ ・なぜ検診に行ったか ・がんが発覚した時の気持ち ・がんが発覚した時の体調 ・治療、手術や復帰の流れ <p>○T3：早期発見の重要性を伝える。</p> <p>○T3：検診を受けるようお家の人に伝えるよう働きかける。</p> <p>○T2：がんに関する偏見を無くし、共に支え合うことが大切であることを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんに対する正しい知識が、誰もが暮らしやすい社会づくりに繋がる <p>○T2：インターネットにはがんに関する様々な情報があふれていることを説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しいことから間違ったことまで ・がんを正しく理解して惑わされないように。
--	--	---

まとめ 16分	5分	8. 本時の復習を行う <ul style="list-style-type: none"> ・がんとはどのような病気？ ・がんにかからないようにできる？ ・もしもがんにかかったら？ ・もし大切な人ががんにかかったら？ <ul style="list-style-type: none"> ・がんを防ぐための12カ条について知る。 	全体	○T2: 覚えているかを問いかけながら再度解説する。 <ul style="list-style-type: none"> ・だれもがなる病気であること ・「がん予防法（5+1）」は覚えているか <ul style="list-style-type: none"> ・自分らしく暮らすことができる ・その人の思いに耳を傾ける T2: 児童の発言にキーワードが出てくるよう発問によって促し、出ないようであればこちらから提示する。
	5分	9. 昨年の質問項目をあげて、授業の理解を深める <ul style="list-style-type: none"> ・がんが再発しても助かることはあるの？ ・一番かかりやすいがんは？ <ul style="list-style-type: none"> ・電子タバコなら大丈夫か <ul style="list-style-type: none"> ・検査に行く前はどんな痛みがあるの <ul style="list-style-type: none"> ・AIの指示を医師が無視することはあるのか ・がんに初めて気づいた人は誰なのか 	全体	○T2: 解説しながら「がんを防ぐための12カ条」を示す。本時の学習内容と交えながら説明する。
				○T2: 早く見つけて治療すれば、命を守れることもある。定期的な検査がとっても大事 ○T2: 男性: 肺がん・大腸がん・胃がん 女性: 大腸がん・肺がん・すい臓がん ○T2: 害が少ないと言われるけど、完全に安全じゃない。肺への影響やがんのリスクもあると考えられ通常のたばこことほぼ同等と理解すべき ○T2: 痛みがある場合も、ない場合もある <ul style="list-style-type: none"> ・おなかの痛み、だるさ、食欲がないなど ・痛みがなくても進行することがあるから検査は大事 ○T2: AIはアドバイスをくれるけど、患者さんにとって一番いい方法を選び決めるのは医師 ○T2: 紀元前400年ごろの古代ギリシャの医師、ヒポクラテス 乳がんの断面を見て「カニのように見える」と言い、がんの語源「Cancer（カニ）」を生み出した。

5分	<p>8. 本時の復習を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんとはどのような病気？ ・がんにかからないようにできる？ ・もしもがんにかかったら？ ・もし大切な人ががんにかかったら？ <p>・がんを防ぐための12カ条について知る。</p>	全体	<p>○T2: 覚えているかを問いかけながら再度解説する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だれもがなる病気であること ・「がん予防法(5+1)」は覚えているか ・自分らしく暮らすことができる ・その人の思いに耳を傾ける <p>T2: 児童の発言にキーワードが出てくるよう発問によって促し、出ないようであればこちらから提示する。</p> <p>○T2: 解説しながら「がんを防ぐための12カ条」を示す。本時の学習内容と交えながら説明する。</p>
1分	9. まとめ	全体	<p>○T1: がんにかからないようにするために子どものうちから自分の身は自分で守るために行動することが大切であることを伝える。</p> <p>○T1: 本時で学んだことをお家の人に伝えるよう働きかける。</p>